

厚生病院だより

# ほほえみ

広報誌

第75号

2021 1. 1

## Topics

- 院長 新年の挨拶 2021年
- 令和2年度 患者満足度調査結果報告
- 第25回市民公開講演



PHOTO: 岡田 克之

基本理念

信頼され、心が通う地域医療



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号  
TEL: 0277-44-7171(代) FAX: 0277-44-7170  
URL: <https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



# 新年の挨拶

～「新しい生活様式」を目指して～

かとう ひろゆき  
院長 加藤 広行



皆様、明けましておめでとうございます。

まず初めに、昨年新型コロナウイルスの感染症によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご遺族に謹んでお悔やみを申し上げます。また現在も闘病中の患者様ならびにご家族の皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）に始まり、全国的な緊急事態宣言の発令、そして東京五輪の延期や夏の甲子園中止などのスポーツイベント自粛、安倍首相の突然辞任など激動の一年でありました。新型コロナ感染では世界中で160万人超の人命が失われ、今もなお収束の見通しが立たない状態が継続し長期化すると推察されています。これは、今から100年前（1918年-1920年）に大流行した『スペイン風邪』というインフルエンザに酷似しており、当時の教訓を活かすべきと思われます。スペイン風邪は、世界中で5億人が感染したとも伝えられ、当時の世界人口の4分の1程度に相当します。そして死者数は2000万人から5000万人とも推計され、これは第2次世界大戦の犠牲者に匹敵すると言われています。

新型コロナウイルス感染症を振り返りますと、令和元（2019）年12月、中国の湖北省武漢市で原因不明の重篤肺炎患者が発生し、令和2（2020）年1月に新型コロナウイルスの感染が確認され、その後世界各地に感染拡大しました。日本では1月16日に国内初の感染症患者が確認され、政府は2月1日に新型コロナウイルス感染症を「指定感染症」に指定しました。そして4月7日に7都府県に対して緊急事態宣言を発令し、4月16日に対象区域を全都道府県に拡大、その後感染者数の減少に伴い、段階的に解除し、5月25日に全国で緊急事態宣言が解除されました。そして「新しい生活様式」に移行しながら、段階的に経済活動を再開しました。しかし残念ながら7月より「第2波」、12月には「第3波」相当の新規感染者の著増があり、12月15日時点で国内に18万人超の感染者が発生しました。世界的に見ても7000万人超の感染者がみられ、各国で感染再拡大となり歯止めがかからない現状であります。ワクチンや治療薬の開発は未だ難しく、国内で承認されたのは、エボラ熱の治療薬候補「レムデシビル」と、ステロイド系の抗炎症薬「デキサメタゾン」の二つに、今後期待されるものは、抗インフルエンザウイルス薬の「ファビピラビル（アビガン）」で、新薬は未だにない状態です。

個人でできる感染予防は、「3密（密閉、密集、密接）を避ける」、「マスクの着用」、「手洗い・咳エチケット」などの衛生上の注意に限定されています。まさに100年前と同様で、ウイルスとの接触機会を減らすことであり、現在の技術革新によっても新型ウイルスの感染拡大防止策は個人の衛生観念に委ねる状況であります。

皆様とともに国民全体で「新しい生活様式」の定着を図り、感染症の収束を目指して、新しい時代へと向かう1年にしたいと思います。そして早期のワクチンと治療薬の開発ならびに東京五輪の開催を切に願っております。

今後も職員一同、皆様のご期待にお応えできるよう迅速かつ丁寧な医療サポートを全力で実施して参りたいと存じます。そのためには地域の皆様方のご支援とご協力が必要不可欠でございます。

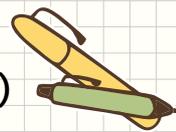
何卒ご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



# 患者満足度調査結果報告

実施期間：令和2年9月14日(月)～9月30日(水)

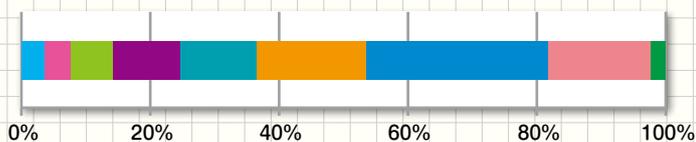
アンケート回収枚数：総合1,669枚（外来 1,360枚 入院 309枚）



桐生厚生総合病院では、より良い患者サービスを皆様に提供できるよう、令和2年9月に患者満足度調査を実施しました。この調査にご協力いただいた患者さんやご家族の方、誠にありがとうございました。満足度調査結果について概要を報告いたします。

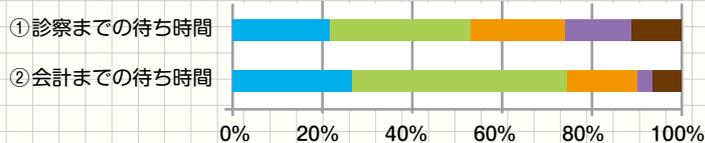
## 回答いただいた患者さんの年齢

■～19歳 ■20歳代 ■30歳代 ■40歳代 ■50歳代  
■60歳代 ■70歳代 ■80歳代 ■90歳～



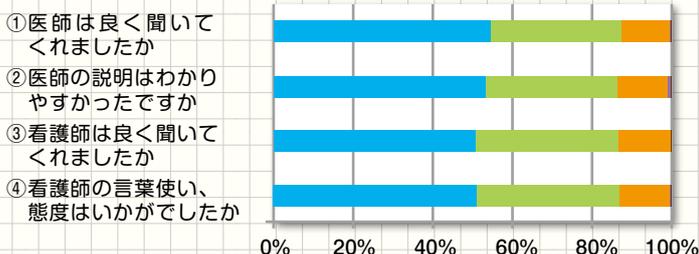
## 外来の待ち時間について

■15分未満 ■15～30分 ■30～45分 ■45～60分 ■60分以上



## 診療の説明、態度について

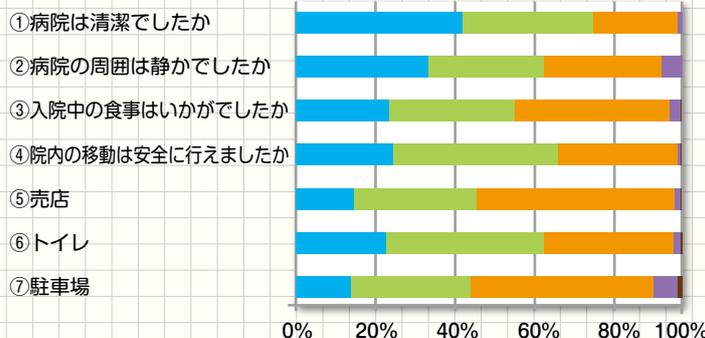
■とても良い ■良い ■ふつう ■悪い ■とても悪い



この問いは、当院の診療において、医師が症状や訴えを良く聞いたか、説明はわかりやすかったか、また看護師の話を良く聞いていたか、その際の言葉使いや態度についての内容でした。結果「とても良い」、「良い」が8割を超えていました。今後もコミュニケーションを大切に、信頼される診療体制を目指します。

## 施設、環境について

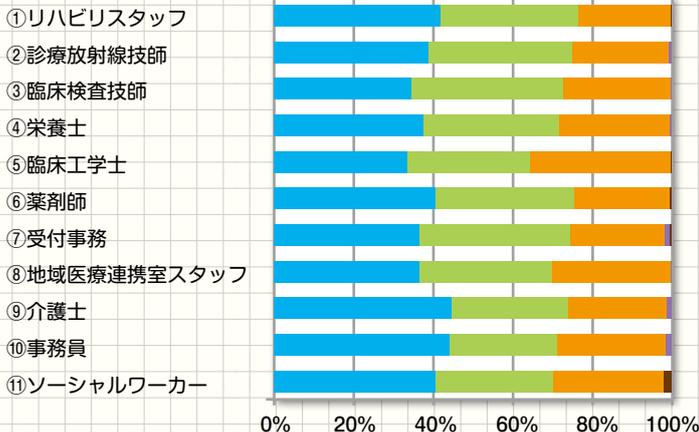
■とても良い ■良い ■ふつう ■悪い ■とても悪い



駐車場に対するご意見が散見されました。昨年、病室の床頭台および駐車場のリニューアルを完了しましたが、さらなる療養環境の改善に努めます。

## 職員の対応、マナー、身だしなみについて

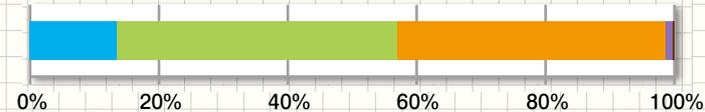
■とても良い ■良い ■ふつう ■悪い ■とても悪い



診療に関わるスタッフの接客態度について、患者さんがどのように感じているか伺いました。結果は約7割の方より「とても良い」、「良い」という回答が得られました。今後も定期的に接客研修などを開催し、接客のさらなる改善を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

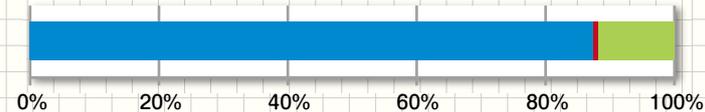
## 昨年と比べた病院の満足度

■とても良い ■良い ■ふつう ■悪い ■とても悪い



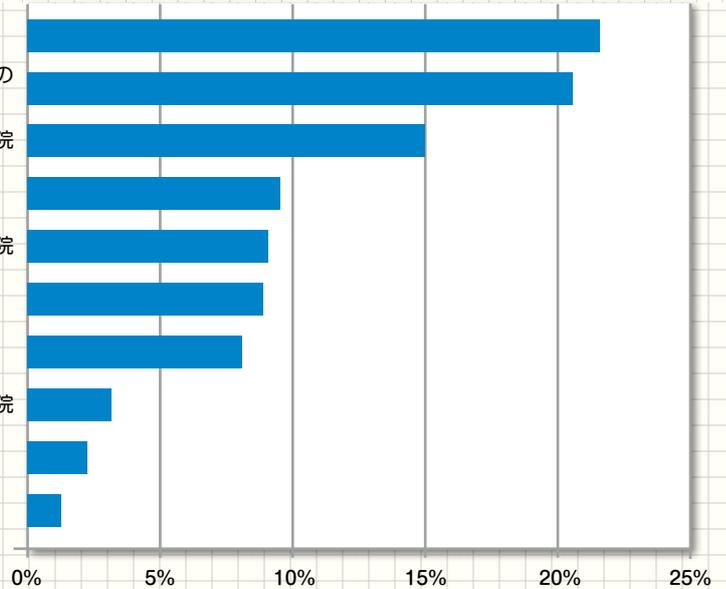
## 桐生・みどり地域に中核病院が必要か

■必要である ■必要でない ■わからない



## 将来の桐生厚生総合病院に望むこと

- ①救急患者を受け入れて集中治療を行うなど住民の命を守る病院
- ②心疾患や脳疾患、がん医療など最先端の医療を追求し、専門医が高度で質の高い医療を提供する病院
- ③地域の病院や診療所と連携・協力して、地域の医療水準の向上に貢献する病院
- ④災害時においても住民の命を守る災害に対応できる病院
- ⑤がんなどで末期を迎えた患者・ご家族に安心できる療養環境を提供できる病院
- ⑥人間ドックやがん検診など病気の予防や早期発見に力を入れる病院
- ⑦小児医療や小児救急及び出産前後の母子のための医療が充実した病院
- ⑧住民への医療情報の提供や講演・健康教室などの啓発活動を積極的に行う病院
- ⑨採算性を重視して、効率的な運営ができる病院
- ⑩その他



“将来の桐生厚生総合病院に望むこと”として、①救急患者を受け入れ、集中治療を行う②専門医が高度な医療を行う③地域医療機関との連携により地域の医療水準を向上させる等、多数のご意見をいただきました。

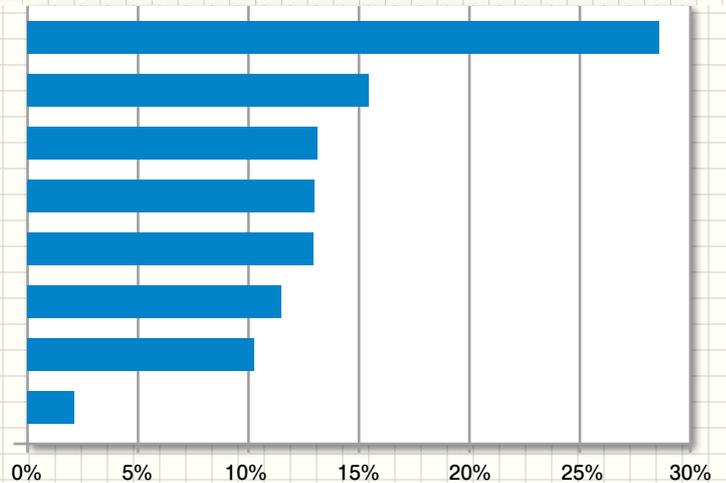
当院では救急患者のスムーズな受け入れ、地域の他の病院、診療所との連携を強化すべく、地域医療機関と定期的な協議を続けています。さらにすべての診療科に学会認定の専門医が在籍しており、高度な医療水準を保持しています。

また、ここ数年、日本の各地に大規模な自然災害が多発していることから、当院でも DMAT（ディーマット：災害派遣医療チーム）を編成し、災害や事故に備えての定期的な訓練を実施しています。

地域の高齢化については、病院のニーズの変化への対応の他、これまで通り小児医療や出産前後の母子にとって安心して受診できる病院を目指しています。

## 患者さんとしてどのような施設、設備を望むか

- ①受付から会計まで、スムーズに行えるシステム
- ②院内の移動距離が短く、効率的に治療・検査が受けられる配置
- ③患者のプライバシーや患者の安全に配慮した施設・設備
- ④大規模災害に備えた施設・設備
- ⑤個室数の充実等ゆとりある病室の整備、患者や家族がくつろげる空間の確保
- ⑥駐車場とアクセス、駐車台数の確保
- ⑦待ち時間を有効に活用できる売店、レストランなど便利施設の充実
- ⑧その他



“患者さんとしてどのような施設、設備を望むか”については「受付から会計まで、スムーズに行えるシステム」という要望を多くいただきました。

これについては昨年、専門の検討委員会を設置し、患者さんにとって、よりわかりやすい受付と動線、さらに今後は「医療コンシェルジュ」の配置等を検討し、受付から診察までの簡略化、会計までの待ち時間の短縮を図るための協議をしております。

病院の設備については建物の老朽化に伴い、患者さんにご不便をおかけすることもあります。より快適に診療を受けられるよう、順次、改善に努めているところです。

～ より詳細なアンケート結果については [当院ホームページ](#) → [病院の紹介](#) → [患者満足度調査](#) に掲載されております ～

近年、全国的に地方都市での医師不足が深刻な社会問題となっておりますが、桐生・みどり地域の基幹病院である当院も例外ではありません。

当院では引き続き、医師確保対策を進めているところですが、病院の機能を維持し、高い水準の医療を提供するために、患者さんにもコンビニ受診（軽症者の休日や夜間の受診）を控えていただくことや、紹介状がなく緊急性のない場合には選定療養費をご負担いただく事がありますのでご理解とご協力をお願いいたします。

患者満足度調査では、多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。

今回の調査結果をもとに、より良い医療サービスを提供できるよう、今後も職員一同取り組んで参ります。

ご協力ありがとうございました。

医療ホスピタリティ推進委員会

# 第25回 市民公開講演 桐生・みどり 合同シンポジウム

日時  
場所

2021年  
**2月27日(土)**  
14:00~18:00 開場13:30

桐生市市民文化会館  
スカイホール

駐車場は、桐生厚生総合病院駐車場または  
桐生市市民文化会館立体駐車場をご利用ください

〈第1部〉

市民公開  
講演

14:00~16:00

## 正しく知ろう！乳がんのこと

～ 乳がん専門医・放射線科医・認定看護師がお答えします ～

司会 高橋 満弘

副院長兼放射線科部長

講師



森下 亜希子

乳腺外科部長



村松 博之

放射線科部長



西場 里香

がん化学療法認定看護師



佐藤 智恵

乳がん看護認定看護師

〈第2部〉

特別講演

シンポジウム

16:30~18:00

(敬称略)

特別講演

## 「地域包括ケアシステムの推進」

群馬県健康福祉部 健康福祉課長兼地域包括ケア推進室長

中島 高志

市民シンポジウム

## 「桐生・みどり地域の医療の未来を市民とともに考える」

座長 岡田 克之

副院長兼地域医療連携室長

シンポジスト 中島 高志

群馬県健康福祉部  
健康福祉課長兼地域包括ケア推進室長

菊地 一真

桐生市医師会 会長/新宿医院 院長

加藤 広行

桐生厚生総合病院 院長

小山 敏恵

桐生市健康長寿課 課長

金子 真紀子

みどり市介護高齢課 課長

主催 桐生厚生総合病院 (令和2年度がん診療連携拠点病院機能強化事業)

後援 桐生市医師会/桐生市薬剤師会

【お問い合わせ先】 TEL 0277-44-7150 (地域医療連携室)

【お知らせ】

お席に限りがありますので、ご了承ください。  
ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。

(※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。)